

肥後神楽会



概要

設立年 昭和16年
会長 山部令介（やまべ れいすけ）
会員数 68人
住所 熊本市健軍本町13-1
主な活動地 熊本市

(地域文化活動部門)

肥後神楽会は、昭和十六年に熊本市と旧飽託郡の神職によつて結成された団体で、その活動は六十年以上の長きに及んでい

る。肥後神楽は、古くから伝承されてきたものが江戸時代末期頃に集大成されたと伝えられる神楽であり、主として県北に広く見られる神事芸能である。本会は、その肥後神楽を神職が中心となって伝承してきたという特徴を持っている。本会が継承する肥後神楽は、昭和三十五年には県の重要無形民俗文化財に指定されている。

現在は、神職を中心にサリリーマンも会員として加わって修

練を続け、後継者の育成に取り組んでいる。また、年間十数回、

熊本市内の神社を廻って神楽の奉納を行っているほか、平成五

年には、「熊本フェスティバル ーN チェコ」に同行して肥後

神楽の公演を行い、海外に肥後神楽をアピールした。最近の新

しい試みとして、平成十三年及び平成十四年に同団体が中心と

なり、熊本市の神楽団体と共に神楽フェスティバルを開催する

など、伝統文化の県内外への披露や普及にも貢献している。

このように、本県神楽の源流である肥後神楽という貴重な伝

統文化の保存継承を行い、その発展と向上に寄与しており、今

後ますますの活躍が期待されている。

これまでの活動歴

昭和十六年	肥後神楽会結成
(一九四二年)	以後現在に至るまで、河尻神宮、錦津見神社、小鳥阿蘇神社、健軍神社、大宮神社、藤崎八幡宮、下江津菅原神社、重富神社、出水神社、片彦瀬菅原神社、宇留毛菅原神社、小坂阿蘇神社、陣内阿蘇神社の各神社等における神楽の奉納を毎年実施
昭和三十五年	熊本県重要無形民俗文化財指定
(一九六〇年)	
昭和四十一年	熊本の郷土芸能を観るついで出演
(一九六六年)	
昭和四十八年	火の国の物語出演
(一九七三年)	十一月 伊勢神宮奉納
昭和五十一年	十月 神風連百周年合同慰霊祭出演
(一九七六年)	
平成四年	五月 文化フェスティバルーN熊本城出演
(一九九二年)	十月 液野村第一回神楽フェスティバル出演
平成五年	五月、六月 熊本フェスティバルーNチェコ出演
(一九九三年)	十一月 伊勢神宮式年遷宮出演
平成十三年	八月 第一回熊本市神楽フェスティバル出演
(二〇〇二年)	
平成十四年	八月 第二回熊本市神楽フェスティバル出演
(二〇〇二年)	
平成十五年	一月 尚綱大学講演、神楽披露
(二〇〇三年)	